

DX推進診断チェックシート

対象者: DX推進担当者(課長・部長クラス)

所要時間: 約15分

診断日: _____年____月____日

診断方法

各項目について、現状を以下の基準で評価してください。

| 評価 | 基準 |
|----|-----------------|
| ◎ | できている(80%以上達成) |
| ○ | 一部できている(50～79%) |
| △ | 不十分(20～49%) |
| × | できていない(20%未満) |

【カテゴリ1】ビジョン・戦略

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|--|----|
| 1-1 | 経営層が明確なDXビジョンを示し、全社で共有されているか？ | |
| 1-2 | DX推進の目的が「手段(ツール導入)」ではなく「成果(業務改革・価値創造)」になっているか？ | |
| 1-3 | 3～5年後の目指す姿が具体的に描けているか？ | |
| 1-4 | 自社の強み・弱みを踏まえた独自のDX戦略があるか？ | |
| 1-5 | 競合他社や業界動向を踏まえた戦略になっているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ2】経営トップのコミットメント

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|-----------------------------|----|
| 2-1 | 経営トップが社内外でDX推進の重要性を発信しているか？ | |
| 2-2 | 推進部署に必要な予算が確保されているか？ | |
| 2-3 | 推進部署に意思決定の権限が与えられているか？ | |
| 2-4 | 経営会議でDXが定期的に議題に上がっているか？ | |
| 2-5 | 経営層への定期報告の場が設定されているか？ | |
| 2-6 | 成果だけでなく課題も正直に報告できる関係性があるか？ | |
| 2-7 | 追加予算や方針転換の判断基準が共有されているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ3】組織・文化

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|-------------------------------|----|
| 3-1 | 失敗を恐れず挑戦できる文化や評価制度があるか？ | |
| 3-2 | 部門間の壁を越えて協力できる風土があるか？ | |
| 3-3 | DX推進を評価・表彰する仕組みがあるか？ | |
| 3-4 | 「変化への抵抗」に対処する仕組みがあるか？ | |
| 3-5 | 経営層・管理職がDXの必要性を理解し、率先垂範しているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ4】現場巻き込み・コミュニケーション ★重要

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|---------------------------------|----|
| 4-1 | 現場の課題ヒアリングを実施し、DX施策に反映しているか？ | |
| 4-2 | 導入前に現場担当者を巻き込んだ検証(PoC)を行ったか？ | |
| 4-3 | 現場リーダー層に「推進協力者(チャンピオン)」がいるか？ | |
| 4-4 | 定期的に現場の声を吸い上げる仕組みがあるか？ | |
| 4-5 | 「なぜこのDXが必要か」を現場に分かりやすく説明できているか？ | |
| 4-6 | 現場の不安や疑問に答える対話の場を設けているか？ | |
| 4-7 | トップダウンとボトムアップのバランスが取れているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ5】人材育成・確保

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|------------------------------------|----|
| 5-1 | DXを推進する人材を育成・確保する計画があるか？ | |
| 5-2 | 社内にデジタル人材(データサイエンティスト、エンジニア等)がいるか？ | |
| 5-3 | 全社員向けのデジタルリテラシー教育を実施しているか？ | |
| 5-4 | 外部人材(副業・兼業含む)の活用を検討しているか？ | |
| 5-5 | DX推進メンバーが専任で活動できる体制か？ | |
| 5-6 | 推進メンバーのモチベーション維持・ケアができているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ6】教育・サポート体制 ★重要

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|------------------------------|----|
| 6-1 | 新ツール導入時に十分な研修・トレーニングを実施したか？ | |
| 6-2 | 困った時に相談できるヘルプデスク・サポート窓口があるか？ | |
| 6-3 | マニュアルやFAQが整備され、アクセスしやすいか？ | |
| 6-4 | 利用促進のための継続的なフォローアップがあるか？ | |
| 6-5 | 操作が分からない人を取り残さない仕組みがあるか？ | |
| 6-6 | 成功事例や活用ノウハウを社内で共有しているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ7】ITシステム・インフラ

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|-----------------------------------|----|
| 7-1 | 既存のIT資産が評価され、刷新の計画が立てられているか？ | |
| 7-2 | レガシーシステムの依存度を把握しているか？ | |
| 7-3 | クラウド活用やAPI連携など、柔軟なシステム構成を目指しているか？ | |
| 7-4 | セキュリティ対策が適切に講じられているか？ | |
| 7-5 | システム選定時に「使いやすさ(UX)」を重視しているか？ | |
| 7-6 | ベンダーロックインを避ける設計になっているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ8】データ活用

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|--------|----|
|-----|--------|----|

| | | |
|-----|---------------------------------|--|
| 8-1 | 部門を超えてデータを活用できる仕組みがあるか？ | |
| 8-2 | データの収集・蓄積・分析の基盤が整備されているか？ | |
| 8-3 | データに基づいた意思決定が習慣化されているか？ | |
| 8-4 | データ品質(正確性・最新性)を管理する体制があるか？ | |
| 8-5 | 個人情報保護・データガバナンスのルールが整備されているか？ | |
| 8-6 | 現場がデータを見て活用できる環境(ダッシュボード等)があるか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ9】業務プロセス改革 ★重要

| No. | チェック項目 | 評価 |
|-----|------------------------------------|----|
| 9-1 | ツール導入前に業務プロセスの見直しを行ったか？ | |
| 9-2 | 「デジタル化」だけでなく「業務効率化・価値向上」を目的としているか？ | |
| 9-3 | 不要な業務を廃止・簡素化する検討をしたか？ | |
| 9-4 | 旧システムとの並行運用期間・移行計画が適切か？ | |
| 9-5 | 業務の標準化・マニュアル化が進んでいるか？ | |
| 9-6 | 「今までのやり方」に固執せず、ゼロベースで考えられているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ10】成果指標・KPI設定 ★重要

| No. | チェック項目 | 評価 |
|------|------------------------------|----|
| 10-1 | DX推進の具体的なKPI(数値目標)が設定されているか？ | |
| 10-2 | 短期(3ヶ月)・中期(1年)の成果目標が明確か？ | |

| | | |
|------|--------------------------------|--|
| 10-3 | 経営層と合意した成果指標があるか？ | |
| 10-4 | 現場が実感できる「小さな成功体験」を設計しているか？ | |
| 10-5 | KPIが定期的にモニタリングされ、関係者に共有されているか？ | |
| 10-6 | 「活動指標」だけでなく「成果指標」を追っているか？ | |
| 10-7 | ツールの利用率だけでなく、業務改善効果を測定しているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ11】スモールスタート・段階的展開

| No. | チェック項目 | 評価 |
|------|--------------------------------|----|
| 11-1 | 小規模部署での試験導入(パイロット)を行ったか？ | |
| 11-2 | 全社展開前に効果検証と改善を実施したか？ | |
| 11-3 | 一度に多くを変えすぎていないか？ | |
| 11-4 | 優先順位をつけて段階的に進めているか？ | |
| 11-5 | 「クイックウィン(早期成果)」を意識した計画になっているか？ | |
| 11-6 | 失敗しても影響が限定的な範囲で試せているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ12】進捗管理・振り返り

| No. | チェック項目 | 評価 |
|------|-------------------------|----|
| 12-1 | 月次でプロジェクトの進捗を振り返る場があるか？ | |
| 12-2 | ツールの利用状況をモニタリングしているか？ | |
| 12-3 | 問題発生時の軌道修正ルールが決まっているか？ | |

| | | |
|------|-------------------------------|--|
| 12-4 | 「失敗から学ぶ」振り返り会を実施しているか？ | |
| 12-5 | 計画と実績の差異を分析し、次に活かしているか？ | |
| 12-6 | プロジェクトの進捗が可視化され、関係者に共有されているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個

【カテゴリ13】外部リソース活用

| No. | チェック項目 | 評価 |
|------|-------------------------------|----|
| 13-1 | 外部専門家(コンサル・ベンダー)との役割分担は明確か？ | |
| 13-2 | 他社事例やベストプラクティスを参考にしているか？ | |
| 13-3 | 社内だけで抱え込まず、相談できる外部パートナーがいるか？ | |
| 13-4 | 外部ベンダーに丸投げせず、社内にノウハウを蓄積しているか？ | |
| 13-5 | 業界団体やコミュニティで情報交換をしているか？ | |

カテゴリ小計: ◎__個 ○__個 △__個 ×__個



総合診断結果

■ 全体集計

| 評価 | 合計数 | 割合 |
|----|-----|-----|
| ◎ | __個 | __% |
| ○ | __個 | __% |
| △ | __個 | __% |
| × | __個 | __% |

総合得点: _____点 / 100点

※計算式: (◎×3点 + ○×2点 + △×1点 + ××0点) ÷ 全項目数×100÷3

■ あなたのDX推進レベル

| 得点 | レベル | 状態 |
|--------|---------|---------------------------|
| 80点以上 | ● 優良 | DX推進が順調です。さらなる高度化を目指しましょう |
| 60～79点 | ● 標準 | 基盤はできています。弱点を補強しましょう |
| 40～59点 | ● 要改善 | 部分的な見直しが必要です |
| 40点未満 | ● 要立て直し | 戦略の再構築が必要です |

あなたのレベル: _____

■ 重点改善カテゴリ(評価が低い上位3つ)

1. _____
2. _____
3. _____



危険信号チェック(緊急対応が必要な項目)

以下の項目で「×」がついた場合は、最優先で対処してください。

- 4-1: 現場の課題ヒアリングを実施していない
- 4-2: 導入前の検証(PoC)を行っていない
- 6-1: 十分な研修・トレーニングを実施していない
- 9-1: 業務プロセスの見直しを行っていない
- 10-1: 具体的なKPIが設定されていない
- 10-4: 小さな成功体験を設計していない
- 11-1: パイロット導入を行っていない

危険信号の数: _____ 個

※3個以上の場合は、プロジェクトの一時停止と戦略見直しを推奨します。



次のアクションプラン

今週中に実施すること

1. _____
2. _____
3. _____

1ヶ月以内に実施すること

1. _____
2. _____
3. _____

相談が必要な相手

- 経営層: _____
- 現場: _____
- 外部専門家: _____



気づき・メモ

次回診断予定日: _____年____月____日(3ヶ月後を推奨)



このチェックシートの使い方

1. 定期的実施: 3ヶ月ごとに診断し、改善度合いを確認
2. チームで共有: 推進メンバーと一緒に診断し、認識を合わせる
3. 経営報告に活用: 可視化された結果を経営層への報告資料に
4. 外部相談の材料に: 専門家に相談する際の現状整理として活用